

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (080-4540-3553)

9月の「どんぐりsカフェ」から 熊本地震に学ぶ地震に強い住宅

9月17日の「どんぐりsカフェ」は、「熊本地震現地報告（地震に強いすまいづくり）」のテーマで開催された。写真。第1部は、熊本地震に、損害保険の鑑定事務所からの依頼で被害調査を担当された一級建築士の津島勝弥さんが、主に熊本市と八代市の被災状況を報告。現地で収めた写真を示しながら、多様な被害実態の説明があった。質問時間では、地震が起こったあ



との道路などインフラの復旧の困難さとその対策の大切さ、被害を受けやすい家屋の特徴は何かなどの具体的な問題が話された。

第2部では、本会の片山繁行監事が、大地震が起こるたびに厳しくなる耐震基準の変遷を解説。地震に強い建物とはどのようなもので何が重要ポイントなのか。また強い建物とするためのリフォームの注意点など丁寧な説明があった。耐震基準は最低基準だという認識を持ち、自分の家の状況を把握して、リフォームの機会があれば少しでも耐震性を高めていくことの大切さを教えられた。（長谷川 光男）

10月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：女性とまちづくり（女性100人委員会が目指すもの）

講師：飯田知恵子氏（高蔵寺ニュータウン女性100人委員会代表）

日時：10月15日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

高齢者・すまい相談・困りごと生活相談

まずはお電話ください

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

面接相談会日時：

10月2日（日） 13：30～16：00

10月30日（日） 13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション

どんぐりsから

高齢者の居場所づくりは、今、全国各地で進められている。どんぐりsも設立当初から「おせっかい基地」と称して、高齢者の歩いていけるところに気軽に集い、支え合える場所を作りたいと願ってきた。しかし、何度か試みたものの、定着しないまま、今日に至っている。

そんな折、東高森台で不登校児のカウンセリングを行ってきた居場所「いつだっていま」（民家）を、高齢者のために開放していただけることになり、9/14に「大人のたまり場」という名称で試験的にオープンした（ただし開設日時は、第2、第4水曜日の午後）。囲碁・将棋・麻雀などの遊具やお茶・お菓子も準備して、気軽にお立ち寄りいただける場所にしたいと願っている。

なお、11月からの本格的始動に向けて、現在、高齢者の利用のための配慮（手すりや段差解消）のため工事費や運営費用のための助成金の申請をはじめ、活動を支援してくれるスタッフを募集する等、安心して、楽しくご利用いただくための検討を急いでいるところである。（藤城 栄一）

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (080-4540-3553)

9月の「どんぐりsカフェ」から 熊本地震に学ぶ地震に強い住宅

9月17日の「どんぐりsカフェ」は、「熊本地震現地報告（地震に強いすまいづくり）」のテーマで開催された。写真。第1部は、熊本地震に、損害保険の鑑定事務所からの依頼で被害調査を担当された一級建築士の津島勝弥さんが、主に熊本市と八代市の被災状況を報告。現地で収めた写真を示しながら、多様な被害実態の説明があった。質問時間では、地震が起こったあ



との道路などインフラの復旧の困難さとその対策の大切さ、被害を受けやすい家屋の特徴は何かなどの具体的な問題が話された。

第2部では、本会の片山繁行監事が、大地震が起こるたびに厳しくなる耐震基準の変遷を解説。地震に強い建物とはどのようなもので何が重要ポイントなのか。また強い建物とするためのリフォームの注意点など丁寧な説明があった。耐震基準は最低基準だという認識を持ち、自分の家の状況を把握して、リフォームの機会があれば少しでも耐震性を高めていくことの大切さを教えられた。（長谷川 光男）

10月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：女性とまちづくり（女性100人委員会が目指すもの）

講師：飯田知恵子氏（高蔵寺ニュータウン女性100人委員会代表）

日時：10月15日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

高齢者・すまい相談・困りごと生活相談

まずはお電話ください

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

面接相談会日時：

10月2日（日） 13：30～16：00

10月30日（日） 13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション

どんぐりsから

高齢者の居場所づくりは、今、全国各地で進められている。どんぐりsも設立当初から「おせっかい基地」と称して、高齢者の歩いていけるところに気軽に集い、支え合える場所を作りたいと願ってきた。しかし、何度か試みたものの、定着しないまま、今日に至っている。

そんな折、東高森台で不登校児のカウンセリングを行ってきた居場所「いつだっていま」（民家）を、高齢者のために開放していただけることになり、9/14に「大人のたまり場」という名称で試験的にオープンした（ただし開設日時は、第2、第4水曜日の午後）。囲碁・将棋・麻雀などの遊具やお茶・お菓子も準備して、気軽にお立ち寄りいただける場所にしたいと願っている。

なお、11月からの本格的始動に向けて、現在、高齢者の利用のための配慮（手すりや段差解消）のため工事費や運営費用のための助成金の申請をはじめ、活動を支援してくれるスタッフを募集する等、安心して、楽しくご利用いただくための検討を急いでいるところである。（藤城 栄一）

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (080-4540-3553)

9月の「どんぐりsカフェ」から 熊本地震に学ぶ地震に強い住宅

9月17日の「どんぐりsカフェ」は、「熊本地震現地報告（地震に強いすまいづくり）」のテーマで開催された。写真。第1部は、熊本地震に、損害保険の鑑定事務所からの依頼で被害調査を担当された一級建築士の津島勝弥さんが、主に熊本市と八代市の被災状況を報告。現地で収めた写真を示しながら、多様な被害実態の説明があった。質問時間では、地震が起こったあ



との道路などインフラの復旧の困難さとその対策の大切さ、被害を受けやすい家屋の特徴は何かなどの具体的な問題が話された。

第2部では、本会の片山繁行監事が、大地震が起こるたびに厳しくなる耐震基準の変遷を解説。地震に強い建物とはどのようなもので何が重要ポイントなのか。また強い建物とするためのリフォームの注意点など丁寧な説明があった。耐震基準は最低基準だという認識を持ち、自分の家の状況を把握して、リフォームの機会があれば少しでも耐震性を高めていくことの大切さを教えられた。（長谷川 光男）

10月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：女性とまちづくり（女性100人委員会が目指すもの）

講師：飯田知恵子氏（高蔵寺ニュータウン女性100人委員会代表）

日時：10月15日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

高齢者・すまい相談・困りごと生活相談

まずはお電話ください

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

面接相談会日時：

10月2日（日） 13：30～16：00

10月30日（日） 13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション

どんぐりsから

高齢者の居場所づくりは、今、全国各地で進められている。どんぐりsも設立当初から「おせっかい基地」と称して、高齢者の歩いていけるところに気軽に集い、支え合える場所を作りたいと願ってきた。しかし、何度か試みたものの、定着しないまま、今日に至っている。

そんな折、東高森台で不登校児のカウンセリングを行ってきた居場所「いつだっていま」（民家）を、高齢者のために開放していただけることになり、9/14に「大人のたまり場」という名称で試験的にオープンした（ただし開設日時は、第2、第4水曜日の午後）。囲碁・将棋・麻雀などの遊具やお茶・お菓子も準備して、気軽にお立ち寄りいただける場所にしたいと願っている。

なお、11月からの本格的始動に向けて、現在、高齢者の利用のための配慮（手すりや段差解消）のため工事費や運営費用のための助成金の申請をはじめ、活動を支援してくれるスタッフを募集する等、安心して、楽しくご利用いただくための検討を急いでいるところである。（藤城 栄一）

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (080-4540-3553)

9月の「どんぐりsカフェ」から 熊本地震に学ぶ地震に強い住宅

9月17日の「どんぐりsカフェ」は、「熊本地震現地報告（地震に強いすまいづくり）」のテーマで開催された。写真。第1部は、熊本地震に、損害保険の鑑定事務所からの依頼で被害調査を担当された一級建築士の津島勝弥さんが、主に熊本市と八代市の被災状況を報告。現地で収めた写真を示しながら、多様な被害実態の説明があった。質問時間では、地震が起こったあ



との道路などインフラの復旧の困難さとその対策の大切さ、被害を受けやすい家屋の特徴は何かなどの具体的な問題が話された。

第2部では、本会の片山繁行監事が、大地震が起こるたびに厳しくなる耐震基準の変遷を解説。地震に強い建物とはどのようなもので何が重要ポイントなのか。また強い建物とするためのリフォームの注意点など丁寧な説明があった。耐震基準は最低基準だという認識を持ち、自分の家の状況を把握して、リフォームの機会があれば少しでも耐震性を高めていくことの大切さを教えられた。（長谷川 光男）

10月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：女性とまちづくり（女性100人委員会が目指すもの）

講師：飯田知恵子氏（高蔵寺ニュータウン女性100人委員会代表）

日時：10月15日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

高齢者・すまい相談・困りごと生活相談

まずはお電話ください

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

面接相談会日時：

10月2日（日） 13：30～16：00

10月30日（日） 13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション

どんぐりsから

高齢者の居場所づくりは、今、全国各地で進められている。どんぐりsも設立当初から「おせっかい基地」と称して、高齢者の歩いていけるところに気軽に集い、支え合える場所を作りたいと願ってきた。しかし、何度か試みたものの、定着しないまま、今日に至っている。

そんな折、東高森台で不登校児のカウンセリングを行ってきた居場所「いつだっていま」（民家）を、高齢者のために開放していただけることになり、9/14に「大人のたまり場」という名称で試験的にオープンした（ただし開設日時は、第2、第4水曜日の午後）。囲碁・将棋・麻雀などの遊具やお茶・お菓子も準備して、気軽にお立ち寄りいただける場所にしたいと願っている。

なお、11月からの本格的始動に向けて、現在、高齢者の利用のための配慮（手すりや段差解消）のため工事費や運営費用のための助成金の申請をはじめ、活動を支援してくれるスタッフを募集する等、安心して、楽しくご利用いただくための検討を急いでいるところである。（藤城 栄一）

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (080-4540-3553)

9月の「どんぐりsカフェ」から 熊本地震に学ぶ地震に強い住宅

9月17日の「どんぐりsカフェ」は、「熊本地震現地報告（地震に強いすまいづくり）」のテーマで開催された。写真。第1部は、熊本地震に、損害保険の鑑定事務所からの依頼で被害調査を担当された一級建築士の津島勝弥さんが、主に熊本市と八代市の被災状況を報告。現地で収めた写真を示しながら、多様な被害実態の説明があった。質問時間では、地震が起こったあ



との道路などインフラの復旧の困難さとその対策の大切さ、被害を受けやすい家屋の特徴は何かなどの具体的な問題が話された。

第2部では、本会の片山繁行監事が、大地震が起こるたびに厳しくなる耐震基準の変遷を解説。地震に強い建物とはどのようなもので何が重要ポイントなのか。また強い建物とするためのリフォームの注意点など丁寧な説明があった。耐震基準は最低基準だという認識を持ち、自分の家の状況を把握して、リフォームの機会があれば少しでも耐震性を高めていくことの大切さを教えられた。（長谷川 光男）

10月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：女性とまちづくり（女性100人委員会が目指すもの）

講師：飯田知恵子氏（高蔵寺ニュータウン女性100人委員会代表）

日時：10月15日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階）
参加費：無料。

高齢者・すまい相談・困りごと生活相談

まずはお電話ください

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

面接相談会日時：

10月2日（日） 13：30～16：00

10月30日（日） 13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション

どんぐりsから

高齢者の居場所づくりは、今、全国各地で進められている。どんぐりsも設立当初から「おせっかい基地」と称して、高齢者の歩いていけるところに気軽に集い、支え合える場所を作りたいと願ってきた。しかし、何度か試みたものの、定着しないまま、今日に至っている。

そんな折、東高森台で不登校児のカウンセリングを行ってきた居場所「いつだっていま」（民家）を、高齢者のために開放していただけることになり、9/14に「大人のたまり場」という名称で試験的にオープンした（ただし開設日時は、第2、第4水曜日の午後）。囲碁・将棋・麻雀などの遊具やお茶・お菓子も準備して、気軽にお立ち寄りいただける場所にしたいと願っている。

なお、11月からの本格的始動に向けて、現在、高齢者の利用のための配慮（手すりや段差解消）のため工事費や運営費用のための助成金の申請をはじめ、活動を支えてくれるスタッフを募集する等、安心して、楽しくご利用いただくための検討を急いでいるところである。（藤城 栄一）

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (080-4540-3553)

9月の「どんぐりsカフェ」から 熊本地震に学ぶ地震に強い住宅

9月17日の「どんぐりsカフェ」は、「熊本地震現地報告（地震に強いすまいづくり）」のテーマで開催された。写真。第1部は、熊本地震に、損害保険の鑑定事務所からの依頼で被害調査を担当された一級建築士の津島勝弥さんが、主に熊本市と八代市の被災状況を報告。現地で収めた写真を示しながら、多様な被害実態の説明があった。質問時間では、地震が起こったあ



との道路などインフラの復旧の困難さとその対策の大切さ、被害を受けやすい家屋の特徴は何かなどの具体的な問題が話された。

第2部では、本会の片山繁行監事が、大地震が起こるたびに厳しくなる耐震基準の変遷を解説。地震に強い建物とはどのようなもので何が重要ポイントなのか。また強い建物とするためのリフォームの注意点など丁寧な説明があった。耐震基準は最低基準だという認識を持ち、自分の家の状況を把握して、リフォームの機会があれば少しでも耐震性を高めていくことの大切さを教えられた。（長谷川 光男）

10月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：女性とまちづくり（女性100人委員会が目指すもの）

講師：飯田知恵子氏（高蔵寺ニュータウン女性100人委員会代表）

日時：10月15日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

高齢者・すまい相談・困りごと生活相談

まずはお電話ください

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

面接相談会日時：

10月2日（日） 13：30～16：00

10月30日（日） 13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション

どんぐりsから

高齢者の居場所づくりは、今、全国各地で進められている。どんぐりsも設立当初から「おせっかい基地」と称して、高齢者の歩いていけるところに気軽に集い、支え合える場所を作りたいと願ってきた。しかし、何度か試みたものの、定着しないまま、今日に至っている。

そんな折、東高森台で不登校児のカウンセリングを行ってきた居場所「いつだっていま」（民家）を、高齢者のために開放していただけることになり、9/14に「大人のたまり場」という名称で試験的にオープンした（ただし開設日時は、第2、第4水曜日の午後）。囲碁・将棋・麻雀などの遊具やお茶・お菓子も準備して、気軽にお立ち寄りいただける場所にしたいと願っている。

なお、11月からの本格的始動に向けて、現在、高齢者の利用のための配慮（手すりや段差解消）のため工事費や運営費用のための助成金の申請をはじめ、活動を支えてくれるスタッフを募集する等、安心して、楽しくご利用いただくための検討を急いでいるところである。（藤城 栄一）